

# 体動かす喜び、生活に積極性

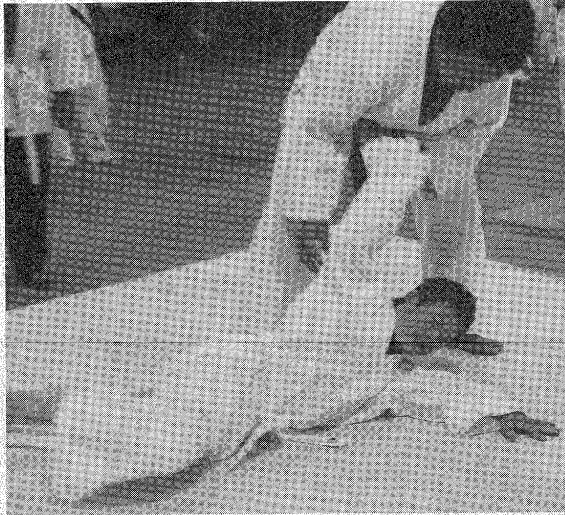
## 注目浴びる知的障害者の柔道教室

### 豊橋での試みに効能

桜丘学園武道場  
名大から視察

全日本柔道連盟の山下泰裕理事も注目。豊橋市南牛川町の桜丘学園武道館で知的障害者を対象にした柔道教室が開かれて1年が経った。体を動かす喜びを知った、日常生活に積極性が出てきたなどの効能が出ている。22日には名古屋大学の学生らによる「体験交流」も開かれた。

(高石昌良)



名大生の学生に投げてもらい、受け身を取る障害者たち—豊橋市南牛川町の桜丘学園武道館で

昨年1月、障害の子を持つ荒木登喜子さんから、「北欧では武道を通して、障害者に体を動かす喜びを与えている。この地区でもできないか」と、前桜丘

ユニフォームのことなら  
佐々木繊維製  
053-273-5344

高校副校長の石田三さんに相談したのがきっかけ。

石田さんから話を聞いた同校柔道部の河合

孝監督が快諾。自身が理事長を務めるNPO

楽しみにまつ。

受け身の練習も大好きで、投げてみたい、とばかりに柔道部に次々と体を預ける。駆けっこ競走では順位に關係なく、自分自身の限界に挑戦する気概をみせるようになった。「日常生活のすべてに積極性が出てきた」と喜ぶ。

1年間講師を務めた河合理事長によると、障害者は柔道を通してスキップを楽しんでいるようだという。受け身では自分の体を自分で守ることに對する本能的な喜びを得ているようだという。22日には、評判を

法人愛知国際柔道自然塾の主催という形で、同年5月から月に2回(第2、第4木曜日)開いてきた。参加する障害者は13人。準備体操に始まり、復横跳びや、柔道部員にすら入れなかったのが、いまは練習の日を

練習後、辻俊宏君(文学部と澤澤和裕君(農学部)は口をそろえて「明るく、楽しそうなのは驚いた。格闘技がこれほどの積極性を生み出すとは想像もしていなかった」と目を丸くした。

この1年間の成果は、全日本柔道連盟の山下理事の耳に入っており、現在、柔道による新しい社会貢献の形

聞きつけて名古屋大学の瓜谷章教授が、自身の担当する基礎セミナーの一環として、1年生13人と一緒に練習の見学、体験に訪れた。

## 豊橋で月に2回、知的障害者向けの柔道教室



(名大生の学生に投げてもらい、受け身を取る障害者たち)

全日本柔道連盟の山下泰裕理事も注目。豊橋市南牛川町の桜丘学園武道館で知的障害者を対象にした柔道教室が開かれて1年が経った。体を動かす喜びを知った、日常生活に積極性が出てきたなどの効果が出ている。22日には名古屋大学の学生らによる「体験交流」も開かれた。

昨年1月、障害の子を持つ荒木登喜子さんらが、「北欧では武道を通じて、障害者に体を動かす喜びを与えている。この地区でもできないか」と、前桜丘高校副校長の石田三さんに相談したのがきっかけ。

石田さんから話を聞いた同校柔道部の河合孝監督が快諾。自身が理事長を務めるNPO法人愛知国際柔道自然塾の主催という形で、同年5月から月に2回(第2、第4木曜日)開いてきた。

参加する障害者は13人。準備体操に始まり、俊敏性を身につける反復横跳びや、柔道部員らに投げてもらって受け身をとる練習、駆けっこ競走など。約1時間半、びっしりと続く。

荒木さんは「この1年間で、息子(28歳、ダウン症)は驚くほど変わった」と語る。最初は緊張して武道館にすら入れなかったのが、いまは練習の日を楽しみにまつ。

受け身の練習も大好きで、投げてください、とばかりに柔道部員に次々と体を預ける。駆けっこ競走では順位に関係なく、自分自身の限界に挑戦する気概をみせるようになった。「日常生活のすべてに積極性が出てきた」と喜ぶ。

1年間講師を務めた河合理事長によると、障害者は柔道を通じてスキンシップを楽しんでいるようだという。受け身では自分の体を自分で守ることに対する本能的な喜びを得ているようだという。

22日夜には、評判を聞きつけて名古屋大学の瓜谷章教授が、自身の担当する基礎セミナーの一環として、1年生13人と一緒に練習の見学、体験に訪れた。

練習後、辻俊宏君(文学部)と峯澤和裕君(農学部)は口をそろえて「明るく、楽しそうなのには驚いた。格闘技がこれほどの積極性を生み出すとは想像もしていなかった」と目を丸くした。

この1年間の成果は、全日本柔道連盟の山下理事の耳に入っており、現在、柔道による新しい社会貢献の形として全国各地での障害者教室開催の検討に入っているという。

河合さんは「北京五輪に出場する教え子の谷本歩実に話したら、私もコマツ(所属先企業)でやってみよう、と話していた。強い選手を育成するだけが柔道ではない。障害者を励ます柔道にも精魂を傾けたい」と張り切っている。(高石昌良)